

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年5月4日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2024 年5月9日
明治大学卒業予定年月	2026 年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ミドル・テネシー州立大学(日本語名) Middle・Tennessee state university(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2023 年8月～2024 年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月中旬～5 月上旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	17,438
創立年	1911

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 ()	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費		947,893 円	
食費		547,792 円	
図書費		円	
学用品費		58,045 円	
携帯・インターネット費		50,000 円	
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		128,015 円	
医療費		201,271 円	
保険費		92,165 円	形態:
渡航旅費		391,335 円	
ビザ申請費		56,025 円	
雑費		91,443 円	
その他		円	
その他		円	
合計		3,463,033 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:ナッシュビル 経由地:ミネアポリス

復路 出発地:ナッシュビル 目的地:羽田 経由地:ラガーディア、ダラス

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社:デルタ空港 料金:158,120

復路 航空会社:ANA 料金:138,590 ∴合計:296,710

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)☒ インターネット(サイト名: Trip.com, booking.com)☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

☒ 学生寮(寮の名前: Womack Lane apartments) ☒ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

学校のオンラインアプリケーション

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

比較的古い建物ではあるが、on campus の寮の中で唯一個人の部屋があり、プライベートが確保されていた。学校とジムからとても近いのでアクセスが良かったです。正直、ルームメイト次第なのでオンラインアプリケーションの際に自分がどのようなルームメイトを探しているのか記入することをおすすめします。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: キャンパスの診療所)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

イエローモバイルSIMを購入して毎月5千円程度だった。学校や寮は割とどこにいてもWi-Fiに接続できる。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本のクレジットカードとデビットカードを使っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Women's studies	女性学入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 85 分が2回
担当教授	Hannah Newcomb
授業内容	ジェンダー問題、社会学
試験・課題等	毎週末小テストとペーパー
感想を自由記入	主にジェンダー問題や社会学を学ぶ授業だった。クラスは、ほとんどディスカッション形式で同年代と深い討論が出来て興味深い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Business	ビジネス入門
科目設置学部・研究科	Jones College Of Business
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が2回
担当教授	Ronda Henderson
授業内容	ビジネスの基礎
試験・課題等	オンライン試験、課題
感想を自由記入	ビジネス単語の知識や基礎を学ぶ授業だった。オンラインでのテストや課題提出であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Survey of Non-western Art	非西洋アートの調査
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	Dr. Nancy Kelker
授業内容	非西洋アート
試験・課題等	毎週末ペーパー
感想を自由記入	毎週末の課題が多く、資料を比較してペーパーを書く必要があったので一番大変な授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to World Religions	世界宗教入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に45分が3回
担当教授	Dr. Adam DJ Brett
授業内容	宗教
試験・課題等	ペーパーと小テスト
感想を自由記入	一番興味深かったことは、アメリカの先住民族のネイティブアメリカンのイベントに参加したこと。他にも、世界中の全ての宗教について改めて学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Human Communication		対人コミュニケーション入門
科目設置学部・研究科		
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 85 分が 2 回	
担当教授	Mr. Dominick Cinefro-Prelis	
授業内容	コミュニケーション	
試験・課題等	ペーパー	
感想を自由記入	2回大きなプレゼンテーションが行われた。先生が本当に気さくな人で安心してプレゼンテーションに臨むことができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Elementary French I		初級フランス語1
科目設置学部・研究科		
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Nina Zupancic	
授業内容	フランス語の会話と基礎	
試験・課題等	毎週末のペーパー	
感想を自由記入	日本でもフランス語を履修していたのでせっかくならば続けて学ぼうと思い履修した。アメリカ人は高校の時に第二外国語として多くの人がフランス語を選択してい他ので比較的話せる人が多かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Cross-Cultural Experiences	異文化経験入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に85分が1回
担当教授	Corey Perkins
授業内容	異文化理解
試験・課題等	毎週末のレポートと小テスト
感想を自由記入	教授が日本に留学していたということもあり日本人学生への理解が他の授業に比べて多かった。様々な国の留学生が多かったので非常に実りのある授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Marketing Section	マーケティング原理
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Rancati Gaia
授業内容	マーケティングの基礎や企業研究
試験・課題等	毎週末のテスト
感想を自由記入	マーケティングの授業で、企業の広告や宣伝にも着目して学ぶことが出来てとても勉強になった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	語学試験の勉強
	10 月 ～ 12 月	選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	オンラインアプリケーション、滞在先の確保
	4 月 ～ 7 月	ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種
	8 月 ～ 9 月	留学開始
	10 月 ～ 12 月	秋学期、中間試験
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	春学期
	4 月 ～ 7 月	春学期、期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私は田舎で生まれ育ち今まで一度も海外に行ったことがなかったため日本人のコミュニティの中でしか生活した経験がありませんでした。そのため私がアメリカに留学に行くことと決めたことは自分のなかでとても大きな決断でした。私は、元々高校生の頃から留学に興味を持っていましたが、コロナウィルスの影響で高校生の頃には実現することができなかったので一番時間にゆとりがある大学 2 年生で留学を決意しました。英語力の向上のためだけでなく、異文化交流を通して自分の視野を広げたいという目標を持っていたため様々なバックグラウンドを持つ人々が集まるアメリカを留学先として決めました。その中でも、テネシーというあまりアジア人が住んでおらず学業に集中できる田舎を選びました。

初めは、学校選びからビザの申請、次々と多くの締め切りに追われ不安でいっぱいでした。何から何まで全て計画性を持って進めていかなければ、アメリカに行ってから困るのは私だと言い聞かせて留学が始まるまで何度も見落としが無い確認したことも思い出の一つです。私が留学先としてミドルテネシー州立大学を選んだ理由は、自分が専攻しているビジネスが有名な大学であったからです。また、留学生は専攻だけでなく違う学科の授業なども履修することができたのでとても魅力的に感じました。この学校は、南部にあり生徒の割合的にアジア人がほとんどおらず、何がなんでも英語を話さなければいけない環境であるということも私がこの学校を選んだ理由の一つです。スポーツや音楽イベントに力を入れていて、さまざまなイベントを開催している学校であったため多くのことを吸収できる学校であると感じました。

やはり一番大変だったことは、授業の課題の量に慣れることと、テストでした。留学生ではあるものの現地の学生と全く同じように扱われるので常に課題に追われていました。初めは、英語でエッセイを書くことに慣れていなかったもので、一つの課題を終わらせるのに5時間くらいかかっていましたが、だんだん慣れてくると 2 時間くらいで終わらせられるようになりました。英語の資料や教科書を授業までに読まなければならなかったものでいつもはじまるぎりぎりまで読んでいました。

そして実際に授業以外にも、アメリカで留学生活を送るにあたって想像していたよりも何倍も多くのことを学びました。留学生活は楽しいことだけではなかったのですが約10か月の留学を通して、とりあえず何にでも参加してみてもチャレンジしてみるという精神が身につきました。私はもともとあまり積極的なタイプではなく新しいことに挑戦するタイプではなかったのですが、アメリカにきてせっかくだからなんでもやってみようと思えるようになりました。語学力についても、留学前よりも格段に話せるようになり、わからないことは何でもわからないと自分に正直になることができました。まさに、百聞は一見に如かずを経験することができました。

よく友人に留学にいかけて羨ましいと言われてきましたが、留学の八割が辛くて大変なことばかりでした。授業中うまく英語が伝わらなかつたり、友達と文化の違いで喧嘩をして、英語で喧嘩をしたり、常にもどかしいことの連続でした。何回も部屋で悔しくて泣いてもう帰りたいと思うこともたくさんありました。しかし、残りの二割の日本では経験できない娯楽や友人たちとの日々を思いっきり自分のものにできたからこそ最後までやり遂げることができました。これから留学を志す人へのアドバイスは、留学は楽しいことばかりではないけれど間違いなく自分自身を強くさせるものであるということです。

最後になりますが、留学はわたしにとって人生を大きく変えた出来事だと思いました。向こうで出会った友人は今でも一生の友人であるし、本当に心の底から楽しい一年でした。